取扱説明書
補足資料

SANYO

パッケージエアコン・マルチ

HFC採用エアコン　新冷媒 HFC（R410A）採用機種

室内ユニット E,EQシリーズ

4方向天井カセット形（SPW-SXシリーズ）	SPW-SX28EQ	SPW-SX36EQ	SPW-SX45EQ	SPW-SX56EQ
	SPW-SX71EQ	SPW-SX80EQ	SPW-SX90EQ	SPW-SX112EQ
	SPW-SX140EQ	SPW-SX160EQ		
ミニ4方向天井カセット形（SPW-SMXシリーズ）	SPW-SMX22E	SPW-SMX28E	SPW-SMX36E	SPW-SMX45E
	SPW-SMX56E			

このたびはパッケージエアコンをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書は、**室外ユニット付属の取扱説明書の補足資料です。**ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、**室外ユニット付属の取扱説明書にとじて、**いつでも見られるところにお客様ご相談窓口（別添）、保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 1
各部のなまえとはたらき …… 3
運転のしかた …… 6
風向調節 …… 10
エアーフィルターのはずしかた … 12
保証とアフターサービスについて 13
故障かな？と思ったときは …… 16
仕　様 …… 18

フロン回収・破壊法　第１種特定製品	
フロンの見える化	1）この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。 2）本ユニットには二酸化炭素＊＊kgに相当するフロン類が使用されています。 3）上記2）の数値（＊＊）は、本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。システム全体での数値は、室外ユニットのサービスパネル裏面または、配管カバーの記入欄に記載されています。 室内ユニットについては、銘板あるいはラベル（電装ボックス）に記載されています。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分していますが、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、人が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

●図記号の意味

⚠ 「警告」や「注意」を促す事項を表します。	🚫 「禁止」を表します。	❗ 必ず実行してほしい行為を表します。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警 告

ご自分で据え付けはしない

据え付けは、お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電や火災、水漏れ等の原因になります。

❗ 据え付けは販売店に依頼

別売品は必ず当社指定の製品を

加湿器等の別売品は必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、別売品の取り付けは専門の業者に依頼してください。
ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電や火災、水漏れ等の原因になります。

❗ 別売品は当社指定の製品を

万一の冷媒漏れへの対策を

万一冷媒が漏れても限界濃度をこえない対策が必要です。
限界濃度をこえない対策として、開口部や換気扇の取り付け等があります。
お買いあげの販売店にご相談ください。
万一冷媒が漏洩して限界濃度をこえると酸欠事故の原因になります。

❗ 限界濃度をこえない対策が必要

⚠ 注 意

アース工事をする

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

アース工事をする

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

🚫 禁 止

漏電しゃ断器を取り付ける

漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。

❗ 漏電しゃ断器の取り付けが必要

ドレン配管は、確実に排水するように施工する

配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

❗ ドレン排水を確認する

使用上の注意事項

⚠ 警 告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない

体調悪化・健康障害の原因になります。

🚫 禁 止

空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れない

内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

🚫 禁 止

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して手元電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電や火災、故障等の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

❗ 手元電源スイッチを切る

濡れた手でスイッチを操作しない

感電や故障の原因になります。

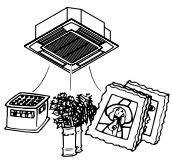
🚫 禁 止

使用上の注意事項

⚠ 注　意

他の目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。品質低下等の原因になることがあります。



禁 止

動植物には直接風を当てない

動植物に直接風が当たる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

禁 止

エアコンの風が直接当たる場所に燃焼器具を置かない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

禁 止

正しい容量のヒューズ以外は使用しない

針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

禁 止

ユニットの上に乗らない・物を載せない

落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。

禁 止

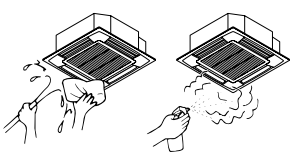
長期使用で据付台等が傷んでいないか確認する

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

禁 止

室内ユニットには洗剤スプレーや水をかけないでください

洗剤スプレーや水をかけて掃除すると故障や、電気ショートによる感電、火災の原因になることがあります。



禁 止

ユニットに水の入った容器等を載せない

ユニットの上に花瓶等水の入った容器を載せないでください。ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。

禁 止

こまめに換気する

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

換気する

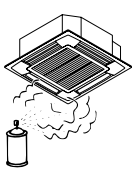
掃除をするときは必ず運転を停止して、手元電源スイッチを切る

内部でファンが高速回転しており、感電やケガの原因になることがあります。

電源を切る

可燃性スプレー等を直接吹きかけない

可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。発火の原因になることがあります。



禁 止

移設・修理時の注意事項

⚠ 警　告

ご自分で改修はしない

改修は絶対にしないでください。
また、修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。
修理に不備があると感電や火災、水漏れ等の原因になります。

禁 止

移動再設置は、販売店に相談する

エアコンを移動再設置する場合は、お買いあげの販売店または専門業者にご相談ください。
据え付けに不備があると感電や火災、水漏れ等の原因になります。

販売店に相談する

各部のなまえとはたらき

リモコン（別売品）

（RCS-SH80EQ/ENQ）

●このリモコン1台で、室内ユニットを最多８台まで運転することができます。
●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。
● RCS-SH80ENQ は省エネボタンなし。

温度設定ボタン

▽ 設定温度を１℃ずつ下げます。

△ 設定温度を１℃ずつ上げます。

※別売の昇降グリルを接続し、操作するときは、下降上昇に使用します。 （☞ 9ページ）

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。
（☞ 8ページ）

リモコンセンサー

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
（グループ制御時は設定しないでください。）

フィルターボタン

■単発押し
フィルターサインを消灯させるときに使用します。フィルターが表示されたときはフィルター掃除後、ボタンを押してください。
■4秒以上の長押し
別売の昇降グリルを接続したときに使用します。 （☞ 9ページ）
※フィルター昇降操作を行うとフィルターサインが消えます。

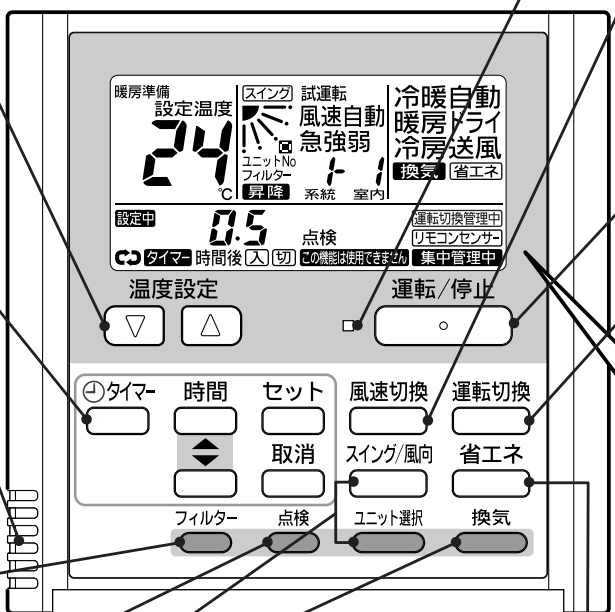
点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

オートフラップボタン

ユニット選択 1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリル操作時にユニットを選択します。

スイング/風向 自動スイングやフラップの角度を設定します。



省エネボタン（RCS-SH80EQのみ）

運転中にボタンを押すとリモコンの表示部に 省エネ が表示され、省エネ運転を開始します。もう一度ボタンを押すと表示は消え、通常の運転になります。

※RCS-SH80ENQには省エネボタンはありません。

換気ボタン

市販の換気扇等を接続したときに使用します。換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。（換気扇が運転中はリモコンの表示部に 換気 が表示されます。）
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に この機能は使用できません が表示された場合は換気扇が接続されていません。

操作部 《上の図はふたを開けた状態を示しています。》

運転ランプ
運転中は点灯します。異常時、保護装置動作中は点滅します。

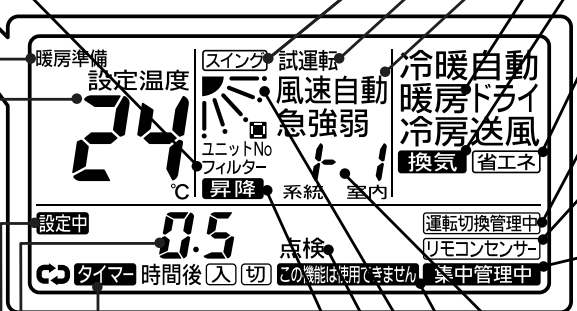
風速切換ボタン
お好みの風速にします。
送風時は自動になりません。

運転／停止ボタン
運転／停止させるときに使用します。

運転切換ボタン
運転モードを切り換えるときに押します。

フィルターの掃除時期をお知らせします。

●手元電源スイッチを最初に入れたとき、リモコンの表示部に 設定中 が点滅します。この表示中は自動機種確認中ですので 設定中 が消えた後リモコンの操作を行ってください。
●このページ以降では、リモコンのボタン名はすべて「ボタン」を省略して表示しています。例：運転／停止ボタン→ 運転/停止 ○



フラップの上下動作中に表示します。

試運転中に表示します。

風速　自動、風速　急、風速　強、風速　弱のいずれかを表示します。

運転の状態を表示します。

市販の換気扇等を接続したとき換気扇運転中に表示します。

省エネ運転中に表示します。

運転切換ボタンを操作したとき 運転切換管理中 が点灯しているときは、運転モードの暖房、冷房の切り換えを禁止します。

リモコンセンサー使用時に表示します。

遠隔運転時に表示します。遠隔側でリモコン操作禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき 集中管理中 が点滅し、変更を受け付けません。

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内ユニットNo.を表示します。

ボタンを押しても操作できないときに表示します。

フラップの位置を表示します。

SPW-SXシリーズをご使用の場合
フラップを個別設定している場合に ■ を表示します。

保護装置動作時および異常時に表示します。

別売の昇降グリルを接続したとき、フィルター昇降状態になると表示します。

タイマー設定ボタンを押すと、切 切タイマー➡ ↻ 切 くり返し切タイマー➡ 入 入タイマー➡ 表示なしの順に切り換わります。

タイマーの時間を表示します。（異常時には警報を表示します。）

タイマー設定中を表す表示です。

設定温度を表示します。

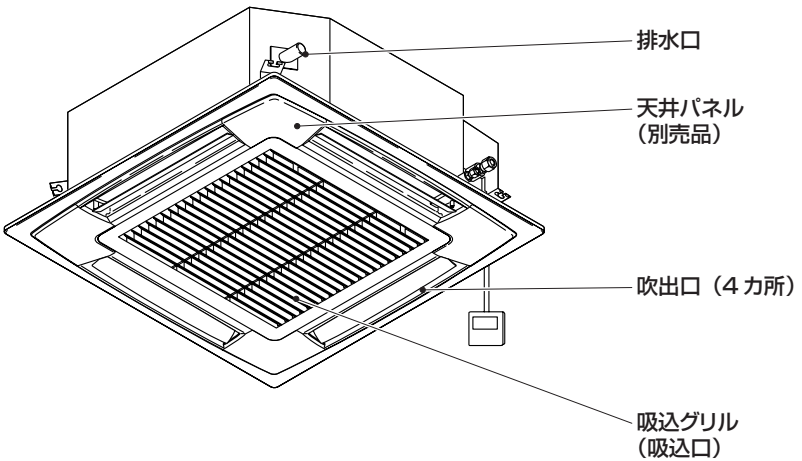
表示中は室内送風機が停止、または微風運転になります。

表示部　《液晶部の表示は、説明用のもので実際とは異なります。》

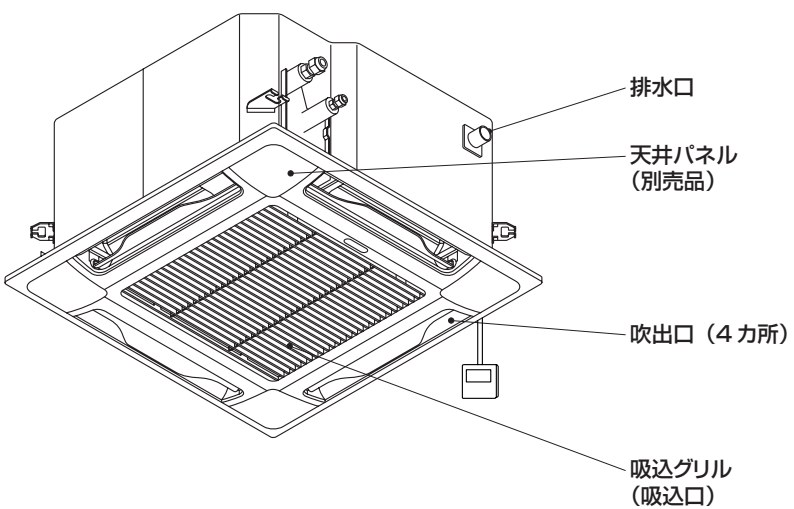
各部のなまえとはたらき

室内ユニット

● 4方向天井カセット形　SPW-SXシリーズ



● ミニ4方向天井カセット形　SPW-SMXシリーズ



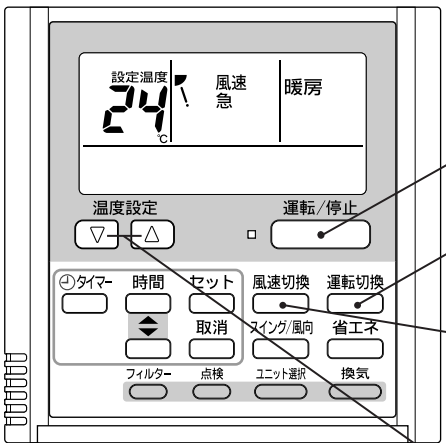
各部のはたらき

排水口	冷房運転時または加湿器取付時（SPW-SXシリーズのみ）に水が出ます。
吹出口・吹出グリル	フラップまたは上下風向調節により風向調節ができます。
吸込口・吸込グリル	内部にはエアーフィルターがあります。

運転のしかた

冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風

《表示部の表示は4方向天井カセット形
（SPW-SXシリーズ）を示します。》



電源　手元電源スイッチを入れてください。
・運転開始5時間以上前

1　運転/停止 ○ を押します。

2　運転切換 □ を押して、冷暖自動、暖房、ドライ、冷房、送風のいずれかにします。

3　風速切換 □ を押して、お好みの風速にします。
自動にすると、風速は自動的に切り換わります。
（送風時は自動になりません。）

4　温度設定 ▽ △ を押して、お好みの温度にします。

	上　限	下　限
冷暖自動	27	17
暖　房	30	16
ドライ・冷房	30	18

※送風時は温度設定ができません。

停止　運転/停止 ○ を押します。

●通常の方法で停止できないとき
手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店へお知らせください。

- ●機種によって、運転開始から設定風速に到達するまでに、時間がかかることがありますが、故障ではありません。
- ●暖房時、風速「弱」で運転して暖まりが良くない場合は風速を「急」・「強」に切り換えてみてください。
- ●温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目やすとしてください。

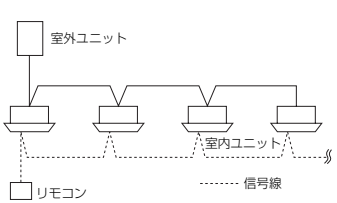
冷暖自動について

設定温度と室温の差によって、暖房、冷房運転を自動的に行います。スーパーWマルチ（2WAY）については同一冷媒系統内の全室内ユニットが1つのグループ制御になっているとき行えます。

複数台の同時運転について（グループ制御）

グループ制御は、一つの広い部屋を複数台のエアコンで空調する場合に適しています。

- ●1台のリモコンで室内ユニット最多8台まで操作できます。
- ●風向、フィルター昇降を除く設定はすべての室内ユニットが同じ設定となります。（☞ 9、10、11ページ）
- ●温度センサーは室内ユニット側をご使用ください。



運転のしかた

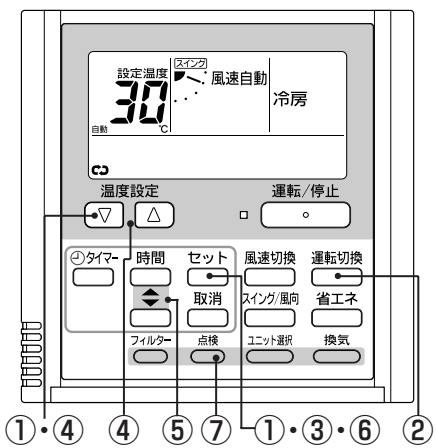
設定温度自動リターン機能の使いかた

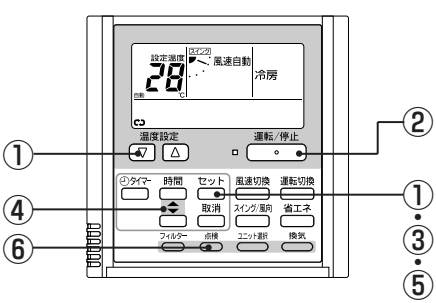
（標準ワイヤードリモコン　RCS-SH80EQ, RCS-SH80ENQ　のみの機能）

●設定した時間経過後、設定温度に戻す機能です。

運転モード	設定時間範囲	設定温度範囲
冷房 ドライ	0.5時間(30分)~2.0時間(120分)	18~30℃
暖房	0.5時間(30分)~2.0時間(120分)	16~26℃
冷暖自動	0.5時間(30分)~2.0時間(120分)	17~27℃

※設定時間は、0.5時間（30分）単位です。
　設定温度は、1℃単位です。
※冷房とドライは同じ設定になります。
※設定できる運転モードと設定温度範囲は室内機種によって異なります。

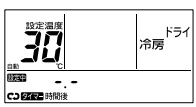




●他の機器から設定温度を変更された場合
　設定した時間経過しても、設定した温度には戻りません。
●停電が発生した場合
　復電後、設定した時間経過後に、設定した温度に戻ります。

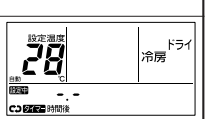
〈使用例〉0.5時間(30分)後に冷房(ドライ)の設定温度を28℃に戻したいとき

①	セット と温度設定 ▽ を同時に4秒以上、長押しします。 リモコンに自動 設定中 、運転モードが表示され、 点滅します。
②	運転切換 を押して、運転モードを設定します。 （初期設定は冷房、ドライになっています。）
③	セット を押すと、運転モードが点灯に変わり、 さらに設定温度とタイマー時間が点滅します。 ※室内機種によっては、選択できないモードがあります。
④	温度設定 ▽ △ を押して、28 に設定します。
⑤	時間 を押して、時間を 0.5 に合わせます。
⑥	セット を押すと点灯に変わります。
⑦	点検 を押します。 自動と のみ点灯したまま、もとのリモコン画面に戻ります。



〈使用例〉冷房（ドライ）の設定温度自動リターン機能を解除したいとき

①②③	上記の①②③と同様の操作を行います。
④	時間 を押して、時間を －.－ に合わせます。
⑤	セット を押すと点灯に変わります。
⑥	点検 を押します。 自動 設定中 、タイマー時間表示が消灯し、もとのリモコン画面に戻ります。 （すべての運転モードの設定が解除されたときのみ消灯します。）



タイマー運転のしかた

●運転中にタイマー設定を行ってください。

こんなときにお使いください		表示部
設定した時間にエアコンを停止させたいとき	切タイマー	切
毎回、設定した時間にエアコンを停止させたいとき	くり返し切タイマー	切
設定した時間にエアコンを運転させたいとき	入タイマー	入

タイマー時間について

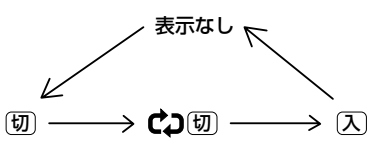
時間

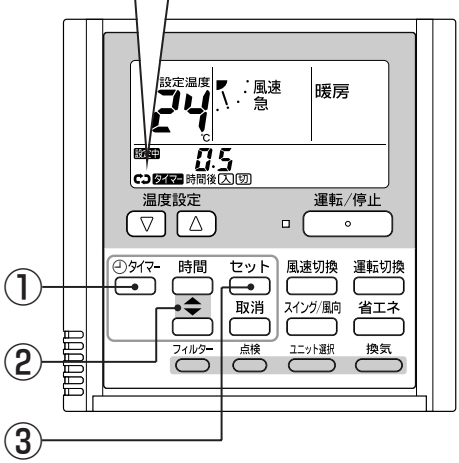
設定時間を0.5時間（30分）ずつふやします。上限は72.0時間です。

設定時間を0.5時間（30分）ずつへらします。下限は0.5時間です。

タイマーの表示について

タイマー を押すごとに次のように切り換わります。





〈使用例〉

切タイマー設定

（例）30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー を１回押すとリモコンに 切 が表示されます。
設定中 と時間データが点滅します。

② 時間 を押して、時間を0.5に合わせます。

③ セット を押します。
設定中 が消えて時間が点灯します。

くり返し切タイマー設定

（例）毎回2時間30分後に運転を停止させたいとき

① タイマー を２回押すとリモコンに 切 と 切 が表示されます。
設定中 と時間データが点滅します。

② 時間 を押して、時間を2.5に合わせます。

③ セット を押します。
設定中 が消えて時間が点灯します。
切タイマーがはたらき2.5時間後に運転が停止します。再び 運転/停止 を押して運転すると、2.5時間後に運転が停止します。

入タイマー設定

（例）8時間後に運転をさせたいとき

① タイマー を３回押すとリモコンに 入 が表示されます。
設定中 と時間データが点滅します。

② 時間 を押して、時間を8.0に合わせます。

③ セット を押します。
設定中 が消えて時間が点灯します。
入タイマー設定直後、エアコンは停止します。

タイマー運転を中止させるとき

取消 を押します。タイマー表示が消えます。

運転のしかた

昇降グリルの操作方法

（別売の昇降グリルを接続してある場合）

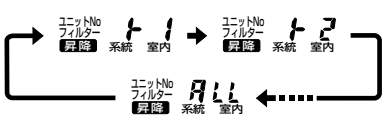
- 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒時間がかかります。
- 昇降グリルについての詳しい説明は、昇降グリルに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- フィルター昇降操作を行うとフィルターサインが消えます。

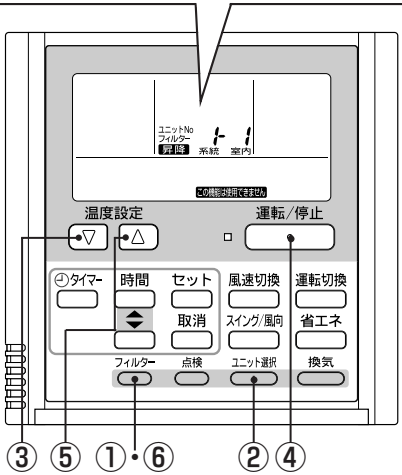
① フィルター を4秒以上押すとリモコンに“フィルター 昇降 ”が点滅します。
（室内ユニットの運転は停止します。）
※ この機能は使用できません が表示されたとき、昇降グリルは接続されていません。

② 1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合（グループ制御）、リモコンにユニットNo.が表示されますので、ユニット選択 を押して、操作する室内ユニットを選択してください。
（詳細は下図を参照してください。）

ユニット選択について

ユニット選択 を押すごとに次のように切り換わります。
※ユニットNo.は室外ユニット－室内ユニット





下降させるとき

③ 温度設定 ▽ を押してください。
昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

停止させるとき

④ 運転/停止 を押してください。
昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、自動的に停止します。
※下降中または上昇中に他の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。
※昇降グリルの高さは変更することができます。変更したい場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。

上昇させるとき

⑤ 温度設定 △ を押してください。
昇降グリルが上昇します。昇降グリルがきちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
※モーターが停止したことを確認してください。

⑥ フィルター を4秒以上押すとリモコンの表示が消えます。
※昇降グリルが動作中に フィルター を4秒以上長押しすると、昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、①に戻ってください。

風向調節

4方向天井カセット形、ミニ4方向天井カセット形

- リモコンで操作するフラップ(上下風向調節板)は絶対に手で動かさないでください。
- 停止時にはフラップ(上下風向調節板)が自動的に下向きになります。
- 暖房準備時にはフラップ(上下風向調節板)が上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

風向きを設定するときは

運転中 スイング/風向 を押すごとに風向きが変わります。

スイングさせるときは

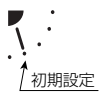
スイング/風向 を押し、フラップ(上下風向調節板)の向きを1番下に設定し、もう1度 スイング/風向 を押すことにより スイング が表示され、風向きが自動的に上下に切り換わります。

スイングを止めるときは

フラップのスイング中にもう一度 スイング/風向 を押すことにより、フラップをお好みの位置で止めることができます。
その後 スイング/風向 を押すと再び風向を1番上から設定できます。

暖房時

フラップ(上下風向調節板)は下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。



冷房・ドライ時

フラップ(上下風向調節板)の向きは、3つのポジションから選択できます。

送風時

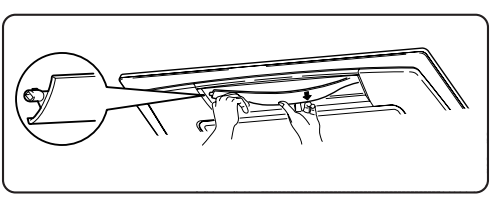
すべての運転時

スイングを止めたときの表示

送風・暖房時	冷房・ドライ時	
		冷房・ドライ時にはフラップは下向きでは止まりません。スイング中にフラップが下向きの状態で止めても上から3番目の位置まで動いてから止まります。

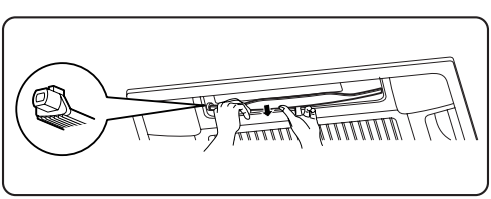
4方向天井カセット形

- 吹出口のフラップは簡単に取りはずして、水洗できます。
- フラップをはずすときは、必ず運転を停止にしてから行ってください。
- 水洗後は、乾燥させてから取り付けてください。



ミニ4方向天井カセット形

- 吹出口のフラップは簡単に取りはずして、水洗できます。
- フラップをはずすときは、必ず運転を停止にしてから行ってください。
- 水洗後は、乾燥させてから取り付けてください。



風向調節

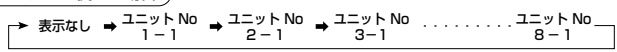
1台のリモコンで室内ユニットを複数台、運転している場合

- **4方向天井カセット形、ミニ4方向天井カセット形は1台のリモコンに室内ユニットが複数台接続されている場合、室内ユニット選択（下記の操作）を行うことにより、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。**

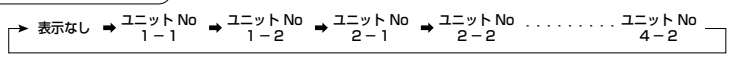
オートフラップボタン ユニット選択 について

- 個別に風向設定するときは ユニット選択 を押し、グループ制御されている室内ユニットNoを表示します。表示されている室内ユニットに対して風向を設定してください。
- ユニット選択 を押すごとに次のような順序で表示が切り換わります。
- 表示なしのときは、室内ユニットを一斉に操作することができます。
- ユニットNoは、室外ユニットNo－室内ユニットNoを表示します。グループ制御されているユニット台数によって異なります。

シングルをお使いの場合



ツインをお使いの場合

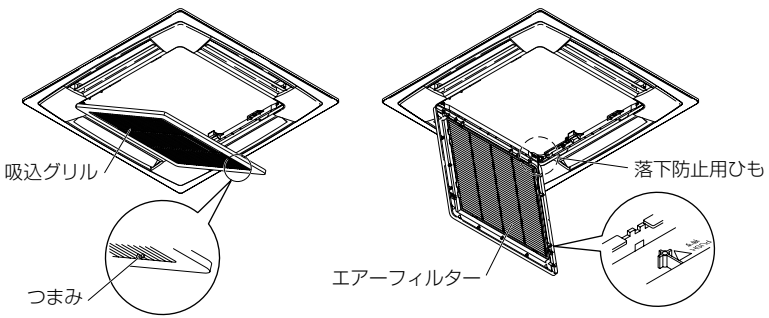


エアーフィルターのはずしかた

4方向天井カセット形

吸込グリルのつまみを内側にスライドさせると、吸込グリルが下に開きます。グリルに印字されている◁マーク部のエアーフィルター側面を押して手前に引くと、エアーフィルターがはずれます。

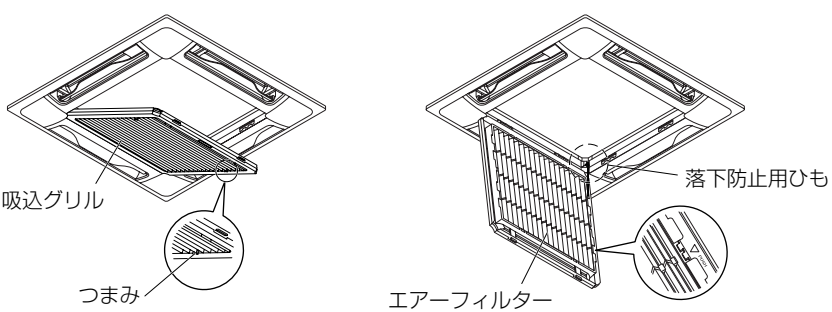
エアーフィルターの向きは固定されていますが、吸込グリルは90度に振り替えて取り付けることができます。



ミニ4方向天井カセット形

吸込グリルのつまみを内側にスライドさせると、吸込グリルが下に開きます。グリルに印字されている◁マーク部のエアーフィルター側面を押して手前に引くと、エアーフィルターがはずれます。

エアーフィルターの向きは固定されていますが、吸込グリルは90度に振り替えて取り付けることができます。



保証とアフターサービスについて(必ずお読みください)

保証書について(別添)

- この製品には保証書がついています。
- お買いあげの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理する方が大切に保管してください。

保証期間

据付年月日から1年間です。詳しくは保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理されるときは

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買いあげの販売店、最寄りの営業所または「お客さまご相談窓口」(別添)にご連絡ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったときは」(☞16、17ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは運転を停止し、必ず手元電源スイッチを切ってから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買いあげの販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お買いあげの販売店へご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客さまのご希望により有料で修理させていただきます。

連絡していただきたいこと

- **品番**
- **据付年月日**
- **製造番号**

(●品番・●据付年月日・●製造番号 → **保証書に記載してあります。**)

- **故障の状況**(できるだけ詳しく)
- **ご住所、ご氏名、電話番号**
- **訪問ご希望日**

移設について

⚠警　告

専門の技術が必要ですので、必ずお買いあげの販売店、最寄りの営業所または「お客さまご相談窓口」(別添)にご相談ください。
なお、この場合は、移設に必要な実費をいただきます。

保守点検契約のおすすめ

ご使用状態によっても異なりますが、エアコンを数シーズンご使用になると、内部が汚れ性能が低下することがあります。良好な状態で長く安心してご使用していただくために、お客さまが行う通常のお手入れとは別に専門のサービス技術者による定期的な保守点検が必要です。当社では「保守契約制度」(有料)を実施しておりますので、エアコンをご購入時にぜひご契約ください。
標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期【主要部品の交換・修理実施周期】」または、代表的な「消耗部品」は下表を目やすにされると便利です。

なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

■「点検周期」および「保全周期」の一覧

- 保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
- 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
  この保全期間は、製品を長く安心してご使用していただくために、保全行為が生じるまでの目やす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。
- 保守点検実施の場合でも予期せぬ突発的偶発故障が発生することがあります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

主要部品名	点検周期	保全周期〔交換・修理〕	主要部品名	点検周期	保全周期〔交換・修理〕
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター（ファン、フラップ、ドレンポンプ用等）		20,000時間	バルブ（電磁弁、四方弁等）		20,000時間
			センサー（サーミスター、圧力センサー等）		5年
ベアリング		15,000時間			
			ドレンパン（注3）		8年
電子基板類		25,000時間	熱交換器		5年

注1. 上記の一覧表は以下のご使用条件の場合です。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。
注2. 以下の項目に適合するときは、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、変化の激しい場所でご使用される場合
②電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合
③振動、衝撃が多い場所に設置されてご使用される場合
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび、硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等が飛散する場所でご使用される場合
注3. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

■消耗部品「交換周期」の一覧

- 交換周期は保証期間を表示しているものではありませんのでご注意ください。
- 本表は主要部品を示します。詳細については保守点検契約に基づいて確認してください。
- 交換周期は製品を長く安心してご使用していただくために、交換行為が生じるまでの目やす期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	−
銀イオン系抗菌剤（注2）		2,500時間	加湿材（注1）		3年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒーター		8年

注1. 建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。
注2. 銀イオン系抗菌剤は消耗品です。交換周期は一般事務所での冷房運転下においての周期になります。また気化式加湿器（別売品）をご使用の場合は、暖房運転時間も加味して2,500時間となります。

保証とアフターサービスについて(必ずお読みください)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(家庭用にご使用される場合が想定される製品に設計上の標準使用期間ラベルが貼ってあります。
なお、18ページに従って保守点検および定期点検を実施される場合はこの限りではありません。)

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

【製造年】(室内ユニット本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50および/または60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	暖房室内温度	20℃(乾球温度)
	暖房室内湿度	59%(湿球温度15℃)
	暖房室外温度	7℃(乾球温度)
	暖房室外湿度	87%(湿球温度6℃)
	設置条件	製品の据付工事説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平家、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房:9時間/日 暖房:7時間/日
	1年間の使用時間	冷房:1,008時間/年 暖房:1,183時間/年

● 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

故障かな？と思ったときは

次の場合は、故障ではありません。

症　　状		原　　因
室内ユニット		
音がする	運転中や停止後等に水の流れるような音がする。	●エアコンの内部に冷媒が流れている音です。 ●ドレンポンプで排水する音です。
	運転中や停止時に「ピシピシ」という音がする。	部品が温度変化により伸縮するためです。
においがする	運転中吹き出した風がにおう。	部屋のにおいや、タバコ、化粧品等のにおいがエアコンに付着し、吹き出されるためです。ユニット内部が汚れていますので販売店にご相談ください。
露がつく	冷房運転中、吹出口付近に露がつく。	部屋も空気中の水分が冷風で冷やされ、付着するためです。
白い霧が出る	冷房運転中、白い霧が出る。 （特に飲食店等で油類を多量に使用される場所。）	●ユニット内部（熱交換器）が汚れていますので洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。 ●霜取運転を行っているためです。
運転停止してもファンがしばらく運転する		●円滑な運転をするためです。 ●設定によっては熱交換器を乾燥させるためにファンが回転する場合があります。
風向が途中で変わる 風向が設定できない 風向が変わらない		●吹出温度が低い場合や霜取運転中に、自動的に水平吹きになります。 ●個別フラップポジションが設定されている場合があります。
風向を変化させたときフラップが何回か動いた後に指定位置に停止する		風向変化時に、基準位置を検知したあとに指定位置にフラップが動くためです。
ホコリが出る		室内ユニットに付着したホコリが吹き出るためです。
室外ユニット		
運転しない	手元電源スイッチを入れてすぐに運転したとき。	圧縮機を保護する回路がはたらいているため、最初の約3分間は運転しません。
	運転を停止後すぐに再運転したとき。	
音がする	暖房運転中、ときどき「プシュン」という音がする。	霜取運転を行っているためです。
湯気が出る	暖房運転中、ときどき湯気が出る。	
リモコンで停止した場合、室外ユニットの圧縮機が停止しても、室外ユニットファンは、しばらく運転するときがあります。		円滑な運転をするためです。

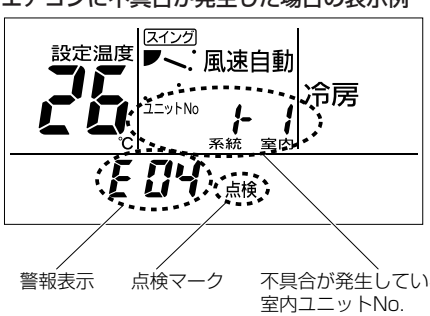
故障かな？と思ったときは

サービスを依頼される前に次のことをお調べください。

症　　状	原　　因	処　　置
スイッチを入れても運転しない	停電中、または停電後ではありませんか？	再度、リモコンの 運転/停止 ボタンを押してください。
	手元電源スイッチが切れていませんか？	●電源ブレーカーがオフの場合は電源を入れてください。 ●電源ブレーカーがトリップ位置の場合は、電源を入れずに販売店にご連絡ください。
	ヒューズが切れていませんか？	切れていたらお買いあげの販売店にご連絡ください。
よく冷えない よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口のまわりを障害物でふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	風速切換が「弱」になっていませんか？	風速を「急」「強」に切り換えてみてください。
	温度設定は適正ですか？	「上手な使いかた」（☞室外ユニット付属の取扱説明書）をご覧ください。
	冷房運転中、室内に直射日光が差し込んでいませんか？	
	窓やドアが開いていませんか？	
	エアーフィルターが目づまりしていませんか？	「お手入れのしかた」（☞室外ユニット付属の取扱説明書）をご覧ください。
	冷房運転中、室内に熱源が多すぎませんか？	熱源の使用は少なく短時間に。
	冷房運転中、在室人員が多すぎませんか？	設定温度を下げる、風速を「急」「強」に切り換える等してみてください。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから手元電源スイッチを切り、お買いあげの販売店に品番と症状をご連絡ください。なおご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。また、リモコンの液晶表示部に点検マークと E，F，H，L，P のアルファベットと数字の組合せが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

●エアコンに不具合が発生した場合の表示例



仕様

種類――冷房･ヒートポンプ暖房兼用・分離形

室内ユニット

4方向天井カセット形

品番		能力(kW)			運転音dB(A)			製品質量(kg)
		冷房	暖房	暖房低温	急	強	弱	
SPW-	SX28EQ	2.8	3.2	2.5	29	28	27	20+(4)
	SX36EQ	3.6	4.2	3.2				
	SX45EQ	4.5	5.0	3.9	30			
	SX56EQ	5.6	6.3	4.9	32	29	27	
	SX71EQ	7.1	8.0	6.2	35	31	28	21+(4)
	SX80EQ	8.0	9.0	6.9				
	SX90EQ	9.0	10.0	7.8	37	34	31	
	SX112EQ	11.2	12.5	9.5	43	38	32	25+(4)
	SX140EQ	14.0	16.0	12.5	44	39	33	
	SX160EQ	16.0	18.0	14.0	45	40	34	

ミニ4方向天井カセット形

品番		能力(kW)			運転音dB(A)			製品質量(kg)
		冷房	暖房	暖房低温	急	強	弱	
SPW-	SMX22E	2.2	2.5	2.0	31	29	28	16+(2.4)
	SMX28E	2.8	3.2	2.5				
	SMX36E	3.6	4.2	3.2	33	31	29	
	SMX45E	4.5	5.0	3.9	37	32	30	
	SMX56E	5.6	6.3	4.9	41	37	33	

- この仕様値はJIS B8616パッケージエアコンに基づいた数値です。
- 製品質量( )内の数値は、天井パネルを示します。
- 運転音( )内の数値は、暖房運転時を示します。( )の無いものは冷・暖共通です。

組合せ仕様

エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号（平成21年）による区分名、冷暖房能力、消費電力、通年エネルギー消費効率（APF)

※省エネ法で定められた機種のみ仕様を掲載しています。

種類－冷房・ヒートポンプ暖房兼用、分離型、空冷式

室外：スーパーマルチ　BN形（4方向天井カセット形との組合せ）

形名	室内ユニット品番	室外ユニット品番	冷房能力定格(kW)	暖房能力定格(kW)	冷房消費電力(kW)50Hz/60Hz	暖房消費電力(kW)50Hz/60Hz	APF	区分名
160形	SPW-SX80EQ×2	SPW-CHXP160BN	16.0	18.0	5.60	5.15	4.4	aj

- この仕様値はJIS B8616パッケージエアコンに基づいた数値です。
- 室外ユニット品番末尾に－Eが付く場合は耐塩害仕様、－Jが付く場合は耐重塩害仕様を示します。

仕様

室外：スーパーWマルチ　BN形（4方向天井カセット形との組合せ）

形名	室内ユニット品番	室外ユニット品番	冷房能力定格(kW)	暖房能力定格(kW)	冷房消費電力(kW)50Hz/60Hz	暖房消費電力(kW)50Hz/60Hz	APF	区分名
224形	SPW-SX112EQ×2	SPW-CHDXP224BN	22.4	25.0	6.54	6.63	4.6	ak
280形	SPW-SX140EQ×2	SPW-CHDXP280BN	28.0	31.5	8.38	8.53	4.8	ak
335形	SPW-SX160EQ×2	SPW-CHDXP335BN	33.5	37.5	10.1	10.5	4.7	ak
400形	SPW-SX90EQ×2 SPW-SX112EQ×2	SPW-CHDXP400BN	40.0	45.0	12.3	12.7	4.6	al
450形	SPW-SX112EQ×4	SPW-CHDXP450BN	45.0	50.0	14.1	14.6	4.4	al
504形	SPW-SX112EQ×2	SPW-CHDXP224BN	50.4	56.5	14.9	15.2	4.7	ak
	SPW-SX140EQ×2	SPW-CHDXP280BN						ak

室外：スーパーWマルチ　BS形（4方向天井カセット形との組合せ）

形名	室内ユニット品番	室外ユニット品番	冷房能力定格(kW)	暖房能力定格(kW)	冷房消費電力(kW)50Hz/60Hz	暖房消費電力(kW)50Hz/60Hz	APF	区分名
280形	SPW-SX80EQ×2 SPW-SX90EQ×2	SPW-CHDXP280BS	28.0	31.5	7.73	7.85	5.2	ak
335形	SPW-SX112EQ×4	SPW-CHDXP335BS	33.5	37.5	9.41	9.53	4.9	ak
448形	SPW-SX112EQ×2	SPW-CHDXP224BS	44.8	50.0	12.4	12.6	4.8	ak
	SPW-SX160EQ×2	SPW-CHDXP224BS						ak
504形	SPW-SX140EQ×2	SPW-CHDXP224BS	50.4	56.5	14.0	14.2	5.0	ak
	SPW-SX160EQ×2	SPW-CHDXP280BS						ak

●この仕様値はJIS　B8616パッケージエアコンに基づいた数値です。
●室外ユニット品番末尾に－Eが付く場合は耐塩害仕様、－Jが付く場合は耐重塩害仕様を示します。

区分名

冷房能力	区分名
10.0kW未満	ai
10.0kW以上 20.0kW未満	aj
20.0kW以上 40.0kW未満	ak
40.0kW以上 50.4kW以下	al

左表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第213号（平成21年）による区分名を示す。

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼されるとき便利です。

品　　番	
据付年月日	年　　月　　日
お買いあげ販売店名 電話番号　　（　　）	

当社空調製品についてのご相談は別紙「お客さまご相談窓口」をご覧ください。

三洋電機株式会社

85464609059000